

特許庁のデザイン経営に関する取組

JPO DESIGN-DRIVEN MANAGEMENT PROJECT

特許技監・デザイン統括責任者(CDO)

岩崎 晋

2022年6月7日

デザイン経営の実践に至る背景と経緯

産業競争力とデザインを考える研究会

2017年7月2017年7月5日～2018年5月21日 全11回開催

デザインによる我が国企業の競争力強化に向けた課題を整理し、その対応策について検討。



- | | | |
|----|-------|---|
| 委員 | 梅澤 高明 | A.T. カーニー株式会社 パートナー／日本法人代表 |
| | 喜多 俊之 | 株式会社喜多俊之デザイン研究所 所長 |
| | 小林 誠 | デロイト トーマツ ファイナンシャルアドバイザー合同会社 知的財産グループ シニアヴァイスプレジデント |
| | 田川 欣哉 | 株式会社タクラム・デザイン・エンジニアリング代表取締役・英国ロイヤル・カレッジ・オブ・アート客員教授 |
| | 竹本 一志 | サントリーホールディングス株式会社 知的財産部長 |
| | 田中 一雄 | 株式会社GK デザイン機構 代表取締役社長 |
| | 永井 一史 | 株式会社HAKUHODO DESIGN 代表取締役社長 クリエイティブディレクター |
| | 長谷川 豊 | ソニー株式会社 クリエイティブセンター長 |
| | 林 千晶 | 株式会社ロフトワーク 代表取締役 |
| | 前田 育男 | マツダ株式会社 常務執行役員 デザイン・ブランドスタイル担当 |
| 座長 | 鷺田 祐一 | 一橋大学大学院 商学研究科 教授 |

「デザイン経営」とは、デザインを企業価値向上のための重要な経営資源として活用する経営である。

「デザイン経営」のための具体的取組

必須条件

- ① デザイン責任者（CDO,CCO,CXO等）の経営チームへの参画**
デザインを企業戦略の中核に関連付け、デザインについて経営メンバーと密なコミュニケーションを取る。
- ② 事業戦略・製品・サービス開発の最上流からデザインが参画**
デザイナーが最上流から計画に参加する。
- ③ 「デザイン経営」の推進組織の設置**
組織図の重要な位置にデザイン部門を位置付け、社内横断でデザインを実施する。
- ④ デザイン手法による顧客の潜在ニーズの発見**
観察手法の導入により、顧客の潜在ニーズを発見する。
- ⑤ アジャイル型開発プロセスの実施**
観察・仮説構築・試作・再仮説構築の反復により、質とスピードの両取りを行う。
- ⑥ 採用および人材の育成**
デザイン人材の採用を強化する。また、ビジネス人材やテクノロジー人材に対するデザイン手法の教育を行うことで、デザインマインドを向上させる。
- ⑦ デザインの結果指標・プロセス指標の設計を工夫**
指標作成の難しいデザインについても、観察可能で長期的な企業価値を向上させるための指標策定を試みる。

特許庁のデザイン経営組織化に向けて(2018年～)

デザイン統括責任者(CDO)とプロジェクトチームの設置

ユーザー目線で行政サービスを刷新し、幅広い利用者にとっての利便性向上に努めると同時に、これからの世界において競争力の源泉となる知的財産の強化を支えるため、2018年8月9日、「デザイン統括責任者(CDO)」を設置し、その下に「デザイン経営プロジェクトチーム」を立ち上げた。

【ニュースリリース】

平成30年8月9日 特許庁の「デザイン経営」がスタートします

<http://www.meti.go.jp/press/2018/08/20180809002/20180809002.html>

The screenshot shows the top navigation bar of the Japanese Patent Office website. On the left is the logo of the Ministry of Economy, Trade and Industry (METI). The navigation menu includes links for '申請・お問合せ' (Application/Inquiry), 'English', 'サイトマップ' (Site Map), '本文へ' (To Main Text), '文字サイズ変更' (Change Text Size) with buttons for '小' (Small), '中' (Medium), and '大' (Large), and 'アクセシビリティ 閲覧支援ツール' (Accessibility Viewing Support Tools). Below the navigation bar is a secondary menu with links for 'リリース・会見' (Release/Press Conference), '審議会・研究会' (Review Committee/Research Conference), '統計' (Statistics), '政策について' (About Policy), and '経済産業省 について' (About METI). The breadcrumb trail reads: 'ホーム ▶ ニュースリリース ▶ ニュースリリースアーカイブ ▶ 2018年度8月一覧 ▶ 特許庁の「デザイン経営」がスタートします'. There are buttons for 'English' and '印刷' (Print). The main heading is '特許庁の「デザイン経営」がスタートします' (The Japanese Patent Office's 'Design Management' Starts). The sub-heading is '特許庁に「デザイン統括責任者」及びプロジェクトチームを設置しました' (We have established a 'Design Management Officer' and a project team at the Japanese Patent Office). At the bottom left, there is a date and category tag: '2018年8月9日 特許庁'.

職員の意識改革(デザイン思考を理解し体験する)

外部から講師を招き、職員に対して研修を実施。これまでに約3分の1の職員が受講。
新人、若手、管理職、幹部など様々な職域で実施。



組織の意識改革(特許庁のミッション・ビジョン・バリューズ)

Mission

「知」が尊重され、
一人ひとりが創造力を
発揮したくなる
社会を実現する

Values

- ▶ 透明性をもって、公正、公平に実務を行う
- ▶ ユーザーの立場で考える
- ▶ 前例にこだわらず、改善を続ける
- ▶ プロフェッショナルとして主体的に行動する
- ▶ 特許庁全体の視野に立つ

Vision

産業財産権を通じて、
未来を拓く「知」が育まれ、
新たな価値が生まれる
知財エコシステムを協創することで、
イノベーションを促進する



デザイン経営の実践



特許庁から審査結果の通知をもらったが、どうして良いかわからない

出願人の方が、次に何をしたら良いのか、分かりやすくするにはどうしたら良いだろう。

お助けサイト



知財がよくわからない
ビジネスするのに必要なものなの？

どうしたら知的財産の重要性を伝えられるだろう

知財を知らない人の興味を引く動画を作ってみよう！

動画「商標拳」

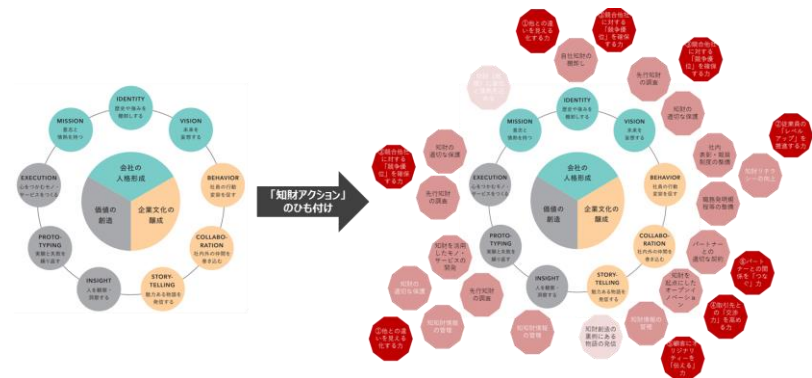


デザイン経営の業務への反映(中小企業支援)

特許庁職員と経産局職員からなる約40名のチームを構成。
強みを生かした活動。(特許庁:知財の専門、経産局:地域・中小企業との繋がり)

(1) デザイン経営と知財の関係性の明確化

→ 関係性の明確化と「好循環モデル」の仮説提示



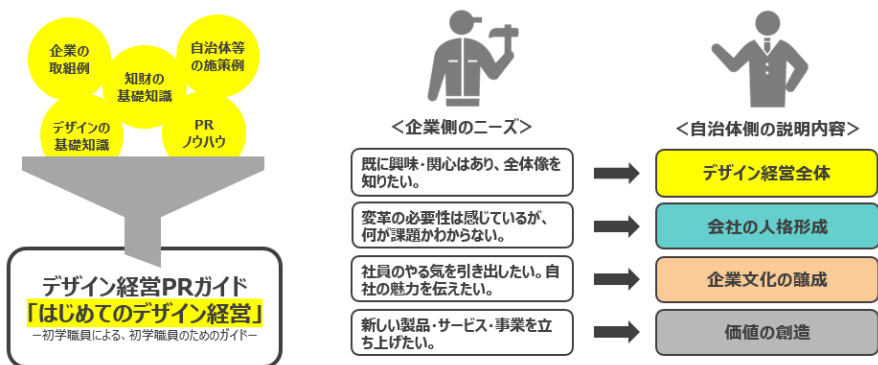
(2) 自治体等との連携体制の構築

→ 「自治体等交流会」の試行



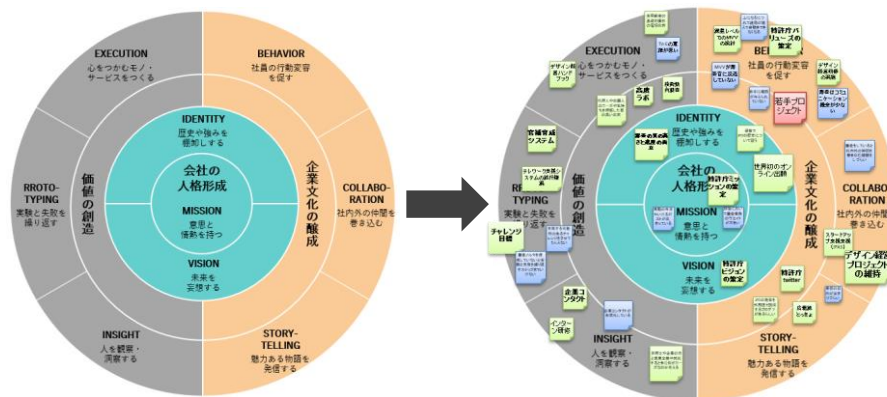
(3) 自治体等職員のためのPR資料の開発

→ 初学職員向けガイド「はじめてのデザイン経営」の試作



(4) 導入・実践を支援するツールの開発

→ 「デザイン経営コンパス」の試作

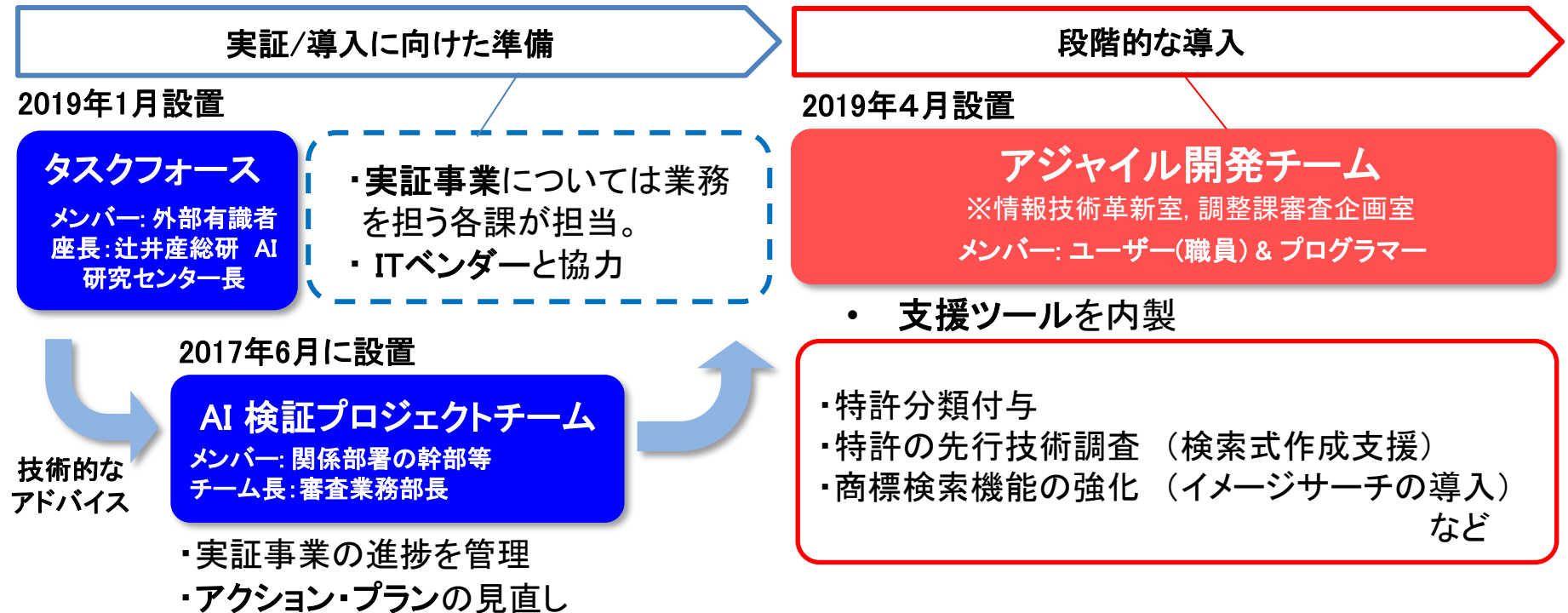


デザイン経営の業務への反映(審査用インフラの内製)

- ・実際に使用する審査官が審査用システムツールを開発。
- ・ペルソナ＝審査官が明確。デザイン思考を用いて、かゆいところに手が届く審査用システム開発が可能。

開発手法

- AIを活用したシステム開発は技術の進歩が早いため、**短期間でPDCAを回せるアジャイル開発**を導入。
(高い信頼性が要求される大規模な基幹システムは、引き続きウォーターフォール開発を実施。)
- AIによる支援ツールは、特許庁自身が責任を持って微調整を続けるため、**ブラックボックス化を避ける**が必要あり、**内部人材が自ら開発**。
- 緊急事態宣言に際して、**審査官向けのテレワーク支援システムをリリース**するなど、新型コロナウイルス感染症に係る緊急対応にもアジャイル開発の機動性が効果を発揮。



I-OPEN PROJECT 21 フォーラム ～社会課題の解決を知財活用で実現する～

I-OPENプロジェクトでは、様々な社会課題の解決に取り組むスタートアップ企業、非営利法人や個人事業主の方々(I-OPENER)と、知財やビジネスに精通した専門家のサポーターとが一つのチームになって、共に考え、行動し、知的財産を活用しながら社会課題を解決できるようにサポートする伴走支援プログラムを実施。

3月3日にオンラインフォーラムを開催。 <https://www.i-open.go.jp/forum/>





I-OPENER'S VOICE

メンタリング参加者の想い

希少疾患と闘う患者家族の負担を減らす
ニッチ製品開発に挑戦しています

入江 由美子



男女問わず最期まで自分らしく
美しく生き切れる社会を実現したい

大平 智社緒 NOTICE



AIをはじめとしたデジタルテクノロジーで
廃棄ゼロのサステナブルなファッションを実現したい

川崎 和也 Synflux 株式会社 代表取締役社長



デザインが持つ美と共感の力で、
様々な社会課題や地域課題を解決したい

小菅 隆太 特定非営利活動法人 イシュープラスデザイン 理事



お腹を空かせたこどもに飯を奢る！
そんな当たり前のことをスマートにできる
文化を作りたい

吉田田 タカシ まほうのたがしやチロル堂



音楽を通して聴覚障がい者が孤立しない
"インクルーシブな社会を実現する"

中村 俊貴 一般社団法人 NEIRO 代表理事



役割を終えた屋外広告を素材化し、社会に循環さ
せるエコシステムの実現したい

守田 篤史 株式会社ペーパーレードアートディレクター



脳のデトックスに効果のある玄米食を通じて、
人々の健康と持続可能な社会の実現に貢献したい

大塚 三紀子 株式会社実身美 代表取締役



日本の発酵技術を使ったフェアトレードで造る
チョコレートで、カカオ農家、消費者、そして
社会の三方良しのエコシステムを実現したい

山下 貴嗣 Minimal - Bean to Bar Chocolate - 代表



心と身体に寄り添ったインスタント味噌汁で
患者をウェルネスへ導きたい

柳田 頼人 株式会社メディセプト 代表取締役社長



I-OPEN
PROJECT 21
フォーラム

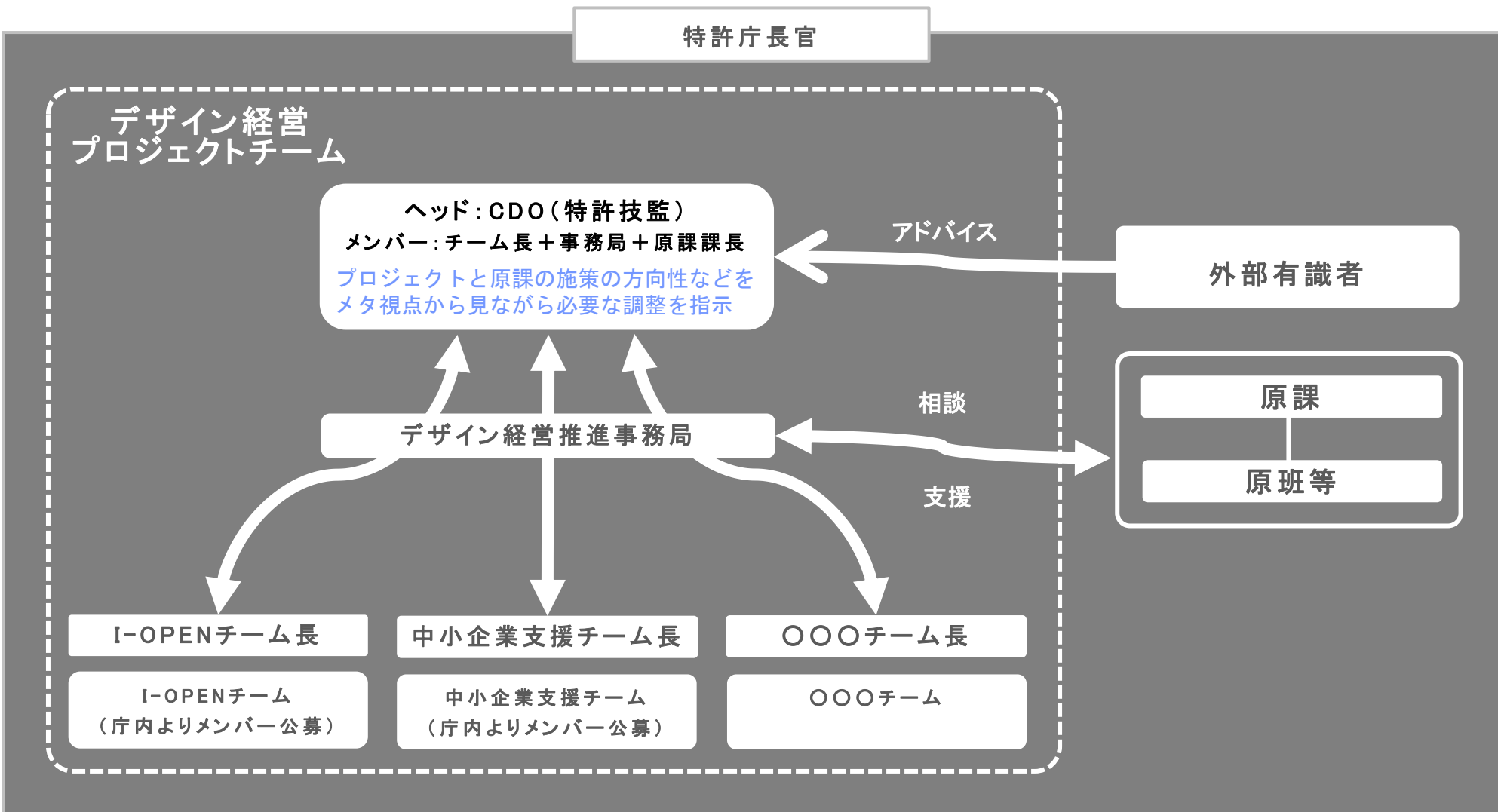
スタートアップ企業、非営利法人や個人事業主の方の体験談及び専門家のサ
ポーター、有識者のアドバイスから、社会課題への取り組みについて共に考え
る特許庁主催で開催された「I-OPEN PROJECT 21 フォーラム」。メンタリン
グに参加したI-OPENERの気づきや成果を元に、専門家のサポーターと有識
者の対話を通して、社会課題解決に使える知財活用の可能性を紐解きました。

アーカイブ動画



デザイン経営プロジェクトチームの新体制・CDOの役割

デザインプロジェクトチームだけではなく、特許庁全体がデザイン思考を使って業務やサービスを改善していくことができる体制を構築。



特許庁デザイン経営プロジェクト

JPO DESIGN-DRIVEN MANAGEMENT PROJECT

特許庁はデザイン経営を推進しています

https://www.jpo.go.jp/introduction/soshiki/design_keiei.html

Mail : PAdesign.project@jpo.go.jp

